



「平成30年子泣かし天狗祭」は1月7日、広見体育センターで行われました。

「鬼ヶ城から山里に下りてきた天狗が、子どもたちの健やかな成長と幸せを祈願する」このお祭り。今年は、県内外から平成28年に誕生した子ども59人と、その家族らが参加しました。

薄暗い中、太鼓集団「魁」の演奏とともに、会場に姿を現した天狗。

その不気味で異様な姿を見た途端、会場には子どもたちの泣き叫ぶ声が轟きました。

天狗に名前を呼ばれた子どもは、保護者に連れられ天狗の腕の中へ。恐怖に泣き叫ぶ子や、驚愕のあまりじっと天狗を見つめる子、そして、中には天狗の腕の中で眠る子など、さまざまな反応を示す中、天狗の「大きく育て」「可愛く育て」などの祈願する声に合わせ、保護者は我が子の健やかな成長を願い、大太鼓を打ち鳴らしました。

祈願後、太鼓集団「魁」による祝福の演奏で幕を閉じました。



平成30年 子泣かし天狗祭

泣く子も笑う子も
大きく元気に育てと願い